

## Q 職員の人事管理と人材育成について

おがわ 小川 しげる 茂 議員



## A 適材適所の配置をはじめ、適切な人事管理を行う



働きやすい職場へ

**問** 本市の未来を担う職員には、限られた人員で変革の時代に的確に対応し、これまで以上に行政をしっかりと運営する能力と体力が必要である。職員採用で見えてきた課題は。

**答** 全国的に公務員のなり手不足が課題となっている。本市でも、各年度の職員数が定員管理計画に定める目標定数を充足できていない。試験方法の変更や専門職の年齢制限を引き上げるなど、応募者数の増加に向けて取り組んできた。

また、定年延長制度の導入に伴い、定年退職を迎える職員が2年に1度となるが、過去に人員削減の手段として行った採用抑制から生じた、いびつな年齢構成の解消のため、継続した職

員採用を行っていく。今後増加していく60歳以上の定年延長職員などには、豊富な知識と経験を活かし、幅広い職場において、自らの能力を發揮し活躍できるよう期待する役割などの考え方を整理した。

全ての職員が働きやすいと感じられるよう、更に社会情勢に応じた多様な働き方ができる仕組みづくりや、常に職場の中で期待され、役に立っているという「働きがい」を持てるような職場となるよう努めていく。

## Q 鶴ヶ島市総合防災訓練と災害対応

たきしま まさのり 瀧嶋 正紀 議員



## A さらに実践的で効果的な訓練になるよう努める



様々な人に配慮した訓練を

**問** 要配慮者の避難誘導訓練は。昨年度は障害者を含めた要配慮者の帰宅困難者対応訓練を行った。今後は、特に自力で避難することが困難な避難行動要支援者が、災害時において円滑に避難することができるよう、避難誘導訓練の内容を研究していきたい。

**問** 女性や性的少数者への配慮を考えた避難所運営訓練は。

**答** 避難所運営マニュアルには、地域住民で構成する避難所運営委員会において、女性のみならず性的少数者の方への配慮をしながら、避難所のルールや役割分担などを話し合っ決めてもらうことを記載している。

総合防災訓練では、住民と会議を重ねることで理解を深め、避難所開設・運営訓練を実施している。今後もより実践的な訓練となるよう地域住民の皆さんとともに実施していきたい。

**問** ペット同伴の避難所運営訓練などの考えは。

**答** ペットを理由に避難ができなくならないよう、様々な状況に応じて臨機応変な対応が必要と考える。

今後、実際にペットの避難を想定し、受付からペット専用スペースまでの案内などを行う訓練を考えていきたい。